

# OCHADAI GAZETTE

お茶の水女子大学学报 第252号 2017年4月4日

OCHADAI GAZETTE April, 2017



## 未来を創る学びの道へ

### CONTENTS

#### TOPICS

- |   |  |
|---|--|
| 学長からのメッセージ…………… 1-2<br>新入生の皆様へ                                | キャンパス点描…………… 7-8<br>● お茶の水女子大学と早稲田大学が連携及び協力に関する協定を締結しました<br>● 国際シンポジウム「科学における女性のリーダーシップとは—アジアと欧州の経験から」<br>“Improving Gender Balance of Participation in Science: European and Asian Experiences” を開催しました<br>● お茶の水女子大学各賞(湯浅年子賞、黒田チカ賞、小泉郁子賞、保井コノ賞、辻村みちよ賞)の授与式を挙行了しました |
| 特色ある取り組み…………… 3-4<br>お茶の水女子大学×株式会社ブリヂストン<br>協定締結記念パネルディスカッション |  |
| 附属学校園からのお知らせ…………… 5-6   |  |
|   | メディア報道記録/研究表彰等受賞者一覧/… 9-10<br>イベントカレンダー  |



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University



# 学長からのメッセージ

## 新生へのメッセージ

### 未来を創る学びの道へ

お茶の水女子大学で、新たな学びの道を歩み始めた皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは、どんな夢を追いかけ、どんな未来を思い描いていらっしゃるのでしょうか？ 私たちは、本学を学びの場として選んで下さった皆さんの、夢の実現をお手伝いしたいと考えています。

お茶の水女子大学は、東京女子師範学校として1875年に設立されてから、今年142年目の歴史を刻みます。その間、女性が社会で活躍することさえ難しかった時代から現在に至るまで、国境、文化、世代の壁を越えた教育と研究を進めて来ました。

そして、本学で学ぶ皆さんが、時代の要請に柔軟に対応して持てる能力を十分に発揮できるよう、特色ある専門教育の推進と合わせて、リベラルアーツ教育、グローバル教育、リーダーシップ教育等の幅広い教育システムを構築して、優れた教育と研究の環境創りに努めて来ました。また、様々な国籍を持つ女性たちが、多様な文化と異なる価値観や考え方を深く理解し合えるよう、現在25カ国の71大学・研究機関との間で交流協定を結んで留学生を受け入れ、日本人学生の留学の機会を広げています。

さらに、21世紀を担う若い人たちが目標を見つけて下さることを願って、国の内外から優れた女性リーダーをお招きして、大学や附属学校の学生や生徒達との交流の機会を作っています。

お茶の水女子大学  
入学試験会場







今、私たち人類は、  
地球温暖化、資源の枯渇、人口問題、食料不足、  
貧困による教育格差・社会格差、新興・再興感染症、  
頻発する自然災害など、多種多様な課題に直面しています。  
日本だけでも、この数年間に、2011年の東日本大震災、2014年  
の御嶽山噴火、昨年の熊本地震等の自然災害にみまわれました。また  
超高齢/少子社会の到来は、将来に向けて多様な課題を生んで居り、社会  
のシステムを変えて行く必要にも迫られています。

大学生になった皆さんには、『学ぶ意欲のある全ての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する』との本学のミッションの下、将来の夢  
を追いながら、学ぶことの深さと楽しさを味わって頂きたいと思ってい  
ます。そして、多様な課題に真摯に向き合いつつ、どのようにし  
てそれらを解決し、人類が幸せに共生していくことができる  
かを考え、人々が心身ともに豊かに生きる未来を創るこ  
とを目指して頂きたいと願っています。



2017年4月  
国立大学法人お茶の水女子大学長 室伏 きみ子

学長からのメッセージ  
新入生へのメッセージ



# 特色ある取り組み

## お茶の水女子大学×株式会社ブリヂストン協定締結記念パネルディスカッション 「女性リーダーが未来をつくる 多様性のある社会に向けて」

2017年1月9日(月)にお茶の水女子大学と株式会社ブリヂストンは女性リーダー育成に向けて協定を締結しました。それを記念して開かれたパネルディスカッションの様子を紹介いたします。紙面の都合上、抜粋となっておりますがぜひホームページで全文をご覧ください。URL: [http://www.ocha.ac.jp/news/20170221\\_1.html](http://www.ocha.ac.jp/news/20170221_1.html)



パネリスト

青山 美奈 氏

株式会社ブリヂストン  
材料製品評価品質保証部長



パネリスト

津谷 正明 氏

株式会社ブリヂストン  
取締役代表執行役 CEO 兼  
取締役会長



パネリスト

室伏 きみ子 氏

お茶の水女子大学長



パネリスト

小西 雅子 氏

東京ガス株式会社  
リビング本部  
営業第二事業部長



ファシリテーター

野村 浩子 氏

ジャーナリスト  
淑徳大学教授

**野村** まず、協定の調印を終えられたトップのお二人から、なぜ女性リーダーを増やす必要があるのか、お聞かせいただけますか。

**室伏** 女性リーダーの育成は、大学にとっても学生にとっても、また社会全体にとっても極めて重要です。特に本学から輩出された女性リーダーは、学生たちにとってのロールモデルとして、さまざまな問題に直面したとき、それを乗り越える糧となります。大学にとっては、女性の視点や考え方を教育や大学運営に反映させることで、魅力や強みを生み出すことにつながります。

**津谷** 社会の構造や人々の生活のありようが大きく変わろうとしている時代には、異なる背景や考え方をを持った人々が集まり、従来の延長線上ではない新しいものを生み出す必要があります。すなわち、少子高齢化の日本においては、高等教育を受けた多くの

優秀な女性を日本社会でうまく活用できなければ、企業として競争力を失うことになると思います。そのために女性のリーダーが必要で、今回の提携で新しいものを生み出せることを期待しています。

**野村** 小西さんと青山さんは女性管理職としてご活躍ですが、管理職になられてから難しいと感じたことはありますか。

**小西** 判断しなければならぬ領域が格段に増え、常に判断を迫られることです。それを克服するために、私自身がぶれない軸を持つことと、部下の言っていることを信頼することに努めました。

**青山** 所属メンバーにはお客さまのために仕事をしていることを理解してもらうようにしています。メンバーを信頼するとともに、私の判断が会社の判断になるので、メンバーに情報をきちんと提供してもらえる環境をつくるのが私の仕事だと思っています。







**野村** 管理職になってよかったことはありませんか。

**小西** 管理職になって、管理職にしか入らない情報が多く入るようになって、視野が広がったことは良かったと思います。また、立場がついてきたことで、自分の思っていることや考えていることを発信できるのもやりがいがあります。女性管理職は男性と視点が異なるので、違う視点でものを言えることや、いろいろな目配りや細かい配慮ができるのも女性管理職ならではの強みだと思います。

**青山** 自分の判断がそのまま組織の意思決定になる部分が醍醐味です。また、経験者の私が上司として存在することで、私の部署の人が育休などの制度を活用しやすくなると思います。私はダイバーシティを地で行くような生き方をしているのでメンバーに対して良い場を与えられているのではないかと思います。

**野村** 女性のリーダー育成を進めていく上で、現状の課題と必要な方策は何ですか。

**室伏** 一番の問題は、女性たちの周囲が固定観念や既成概念にとらわれていることです。まずは若い女性たちに自信を与え

て、いろいろなことにチャレンジする勇気を持たせてほしいと思います。もう一つ大事なのは、女性たち自身が相談できる仲間を作ることです。相談することは決して恥ずかしいことではなく、周りに多様なサポーターを作っていくことはとても大事です。

**津谷** 1点目は、少数派ではないマス（グループ）を意図的につくることだと思います。2点目は、周りの制度や仕組みを変えることです。当社では事業所内保育所を設けていますが、子どもさんが熱を出してもすぐに行けることは大事だと思いますし、社会が女性をきちんと支援する仕組みを構築していく必要があると思います。3点目は、女性が変わることによって、男性の仕事や生活のスタイルも変わってくるという視点を持つことです。そのことが社会を良くすると思います。

**野村** 最後に一言ずつ皆さんにメッセージを頂きたいと思います。

**青山** 「女性の活躍」が達成されて、そういう言葉が早くなければいいと思っています。それに向けて、これからも微力ながら会社の仕組みや人の意識を変える活動を継続して次世代の女性や多様な働き方を支えていきたいと思っています。



**小西** これからも管理職の1人として、ますます頑張っていきたいと思います。4月にはガスの自由化も始まりますが、ぜひその際は小西を思い出していただければと思います。

**津谷** お話を聞いていて、やはり女性は強いなと思いました。私も上司に仕えていたときに、上司が決められないときは困りました。ですから、間違っても決めることが大切です。女性の活躍は男性の生き方や働き方、社会全体も変えていくと思うので、1年後にもう少し進歩した姿で当社の取り組みについてお話できればと思います。

**室伏** 生物学的には女性の方がはるかに強いのです。そして、女性は世の中で活躍できる大きな可能性を持っています。ですから、男女の区別なく同じようにチャンスを与えてほしいと思います。男女の違いを上手に活かし、男性にも女性にも働きやすい環境を作って、男女それぞれがリーダーとして育ててほしいと思います。男性も女性も共に手を携えて頑張りましょう。

**野村** 今日の皆さんの話を伺って、まさしく新しい一歩が踏み出されると感じました。今日はたくさんの方のヒントを頂いたので、このヒントを基に皆さんと共に進んでいきたいと思っています。





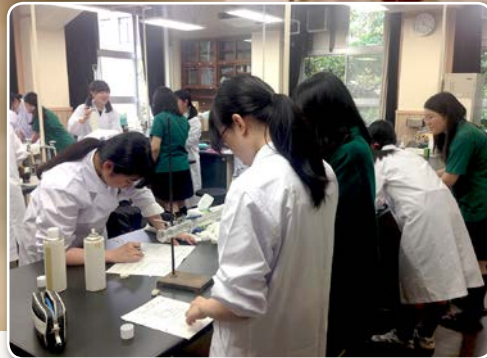
# 附属学校園からのお知らせ

## 附属高等学校便り

2016年5月 台北市立第一女子高級中学より 生徒44名 教員3名が来校



本校正面玄関前にて記念撮影



化学の実験に参加

### 「スーパーグローバルハイスクール」3年間のあゆみ

附属高等学校は2014（平成26）年度に、文部科学省より「スーパーグローバルハイスクール」（以下SGH）の指定を受け、現在、5年指定の4年目を迎えております。

SGHとは、「急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養に加え、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成する」ことを目的とする文部科学省の事業です。

本校は「女性の力をもっと世界に～目指せ未来のグローバル・リーダー～」をテーマとし、自国の文化を含む多文化理解、共感力、協働精神を有し、国際社会の平和と持続可能な発展に寄与する意欲と能力を持つグローバル女性人材の育成を目標に掲げて、研究開発を続けております。

2016（平成28）年にはSGHの中間評価が行われ、9月末に結果が公表されました。この中間評価は、指定3年目の指定校について、SGH企画評価会議協力者（外部の有識者）による2年目までの研究開発の

進捗状況等に関する評価を行い、各指定校が研究開発等の内容を見直す機会とし、事業の効率的な実施を図ることを目的とするもので、評価は6段階で示されました。本校は上から2番目「これまでの努力を継続することによって、研究開発のねらいの達成が可能と判断される。」との評価をいただきました。

講評では「研究開発を学校全体で取り組むための組織改編」、「運営指導委員会の実施方法」、「SGH事業を推進させるための体制強化、教育課程の改善」などを評価していただきましたが、「改編」「強化」「改善」とありますように、この3年間は試行錯誤の連続でした。

SGHの申請時には2・3年生の選択者を対象とする課題研究「グローバル総合」「グローバル総合アドバンス」を中心とする計画でしたが、指定後に文科省の指導により必修の「持続可能な社会の探究Ⅰ・Ⅱ」を加えたため、生徒の負担が過重となり探究活動を深められないという課題が生まれました。そのため、3年目からは「グローバル総

合・アドバンス」を発展的に解消して2・3年生全員必修の「持続可能な社会の探究Ⅰ・Ⅱ」に統一するとともに、全教員がSGHの取り組みに関わるよう組織の改編と体制の強化に努めました。現在、「持続可能な社会の探究Ⅰ」では、「生命と環境」、「経済と人権」、「文化と表現」の3領域に2つずつの講座を開講し、2年生がグループ学習を中心に学んでいます。「持続可能な社会の探究Ⅱ」では、3年生がクラス単位で2年次の探究の成果を共有し、さらに内容を深めて英字新聞にまとめる活動を行っています。

海外研修のあり方も検討課題となっています。初年度は2年生の「グローバル総合」の3講座の受講者から希望者を募って台北研修を実施しましたが、事前学習、海外研修、課題研究を有機的に連動させることが難しく、生徒・教員双方の負担が問題となりました。そこで2年目には「グローバル総合」の特定の講座の受講者を対象とし、講座の活動内容と結びつけて海外研修を実施するように変更したところ、生徒の負担の軽減と内容の充実の両立が可能になりましたが、研修参加が特定の講座受講者に限ら

### イオン1%クラブ主催 アジアユースリーダーズ （環境をテーマとする海外研修）



2014年 ベトナム



2015年 中国



2016年 タイ

●環境をテーマとする海外研修に本校生徒5～6名が参加



## 附属学校園での出来事 (2017年1月～3月)

### 【いずみナーサリー】

1月

- 避難訓練 (地震・室内待機)

2月

- 節分遊び
- 保護者会
- 避難訓練 (抜き打ち・地震・室内待機)

### 【附属幼稚園】

1月

- 始業式
- 春を祝う会
- クラス懇談会
- 親子体操の会
- お汁粉会
- 避難訓練
- 大根掘り (5歳)
- 親子で遊ぶ日 (3歳)

2月

- 保護者対象学内講師講演会
- 豆まき
- 遠足 上野動物園 (5歳)
- 誕生会

3月

- ひなまつり
- お楽しみ会 (5歳)
- PTA総会・全体保護者会
- 卒業式

### 【附属小学校】

1月

- 始業式
- 成人のつどい
- 留学生との交流会 (5年)

2月

- 委員会 (4年生見学)
- 公開研究会
- ジャガイモ植え (5年)

3月

- 雪の学校 (6年)
- 授業参観・保護者会総会・かがみ会総会
- 茗鏡会スプリングコンサート
- 卒業おめでとうの会
- 保護者会 (各学年)
- 校外学習 (1年、2年、3年、4年)
- バイク給食 (6年)
- 卒業式

3月

- 親子であそぼう会
- 避難訓練 (お散歩先・地震)

### 【附属中学校】

1月

- 授業開始
- 特別時間割時間

2月

- 自主研究発表会 (2年)
- 期末テスト (全学年)

3月

- 期末テスト (1・2年)
- 避難訓練 (1・2年)
- 保護者会 (3年)
- 郊外園 (ジャガイモ植え付け: 2年)
- 音楽行事・歓送会
- 卒業式
- 終業式・離任式
- 保護者会 (1・2年)

### 【附属高校】

1月

- 始業式
- 大学入試センター試験 (3年)
- 合唱コンクール
- 3年生2者面談
- 学力テスト (1・2年)
- 進路講演会 (1年)
- 保護者会 (1・2年)

2月

- 学力テスト (1・2年)
- 入学検定・合格発表

3月

- 新入生説明会
- 期末考査
- 農場実習 (ジャガイモの植付け: 1年)
- 答案返却・歓送会
- 特別講義「図書館を活用した探究の方法」(1年)
- 卒業式予行
- SGH成果発表会 (兼公開教育研究会)
- 卒業式
- 終業式



3年生が作成した英字新聞

れる、研修を実施する講座の教員の負担が増加するなどのあらたな課題が指摘されました。そのため3年目は海外研修担当教員を別に配置し、参加者も「持続可能な社会の探究I」の受講者である2年生全員から募集する形に改めました。初年度同様、海外研修と課題研究の連動および負担軽減が課題ですが、今年度もこの方法を継続しながら改善を模索する予定です。

この3年間で、教育課程を改善するとともに、学校全体で取り組む体制を整備してまいりました。残り2年間で研究開発のねらいである未来のグローバル・リーダーを育成する教育課程を開発できるよう、これからも努力を続けてまいりたいと思います。

### 2016年10月 本校より生徒30名、教員3名が台北市立第一女子高級中学を訪問



ウェルカムレセプション後の記念撮影



英語でグループディスカッション

## 附属学校園からのお知らせ

## キャンパス点描

### お茶の水女子大学と早稲田大学が連携及び協力に関する協定を締結しました

2017年1月31日(火)、お茶の水女子大学と早稲田大学は「国立大学法人お茶の水女子大学と学校法人早稲田大学の連携及び協力に関する協定」を締結しました。本協定は、両大学における研究・教育・産学連携・国際交流への貢献と相互発展に資することを目的とするものです。

協定調印式後の記者会見で、本学の室伏学長は、「学部・大学院の単位互換、研究指導・論文指導等の連携を始めとして、これからの新しい時代に即した新たな教育研究体系の構築を進めていく一歩であり、今後さらに全学的な相互交流に拡大していきたい。」と抱負を述べました。また、鎌田薫早稲田大学総長は、「理系分野を先駆けとして進めてまいります。国内屈指の女子大学であるお茶の水女子大学との連携により、特に男女共同参画時代を担う人材・研究者の育成にふさわしい教育研究環境がより一層充実することを喜ばしく思います」と期待を述べました。



協定調印後 握手する室伏学長と鎌田総長

今回の包括協定により、今後連携内容が発展的に展開することにより、さらに研究教育の一層の発展充実が期待されます。

### お茶の水女子大学各賞 (湯浅年子賞、黒田チカ賞、小泉郁子賞、保井コノ賞、辻村みちよ賞)の授与式を挙行了しました

2017年2月24日(金)、お茶の水女子大学各賞(湯浅年子賞、黒田チカ賞、小泉郁子賞、保井コノ賞、辻村みちよ賞)の授与式を行いました。湯浅年子賞(以下湯浅賞)は、優れた原子核の実験的研究を行い、国際的に活躍した女性自然科学者湯浅年子博士を称え、黒田チカ賞(以下黒田賞)は天然色素の構造について長年にわたって優れた研究を行い女性化学者として活躍した黒田チカ博士を称えて制定されたものです。第4回湯浅賞金賞は望月優子氏(理化学研究所 望月雪氷宇宙科学研究ユニット 研究ユニットリーダー)に、第2回黒田賞は対馬かなえ氏(国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系 特任助教)、工藤まゆみ氏(群馬工業高等専門学校 物質工学科 助教)の両氏にそれぞれ贈られました。

また今年度より、本学卒業後アメリカに留学し『男女共学論』を著すなどの社会的活動を通じて女性の権利向上を広く訴えると



もに日中教育文化交流に尽力し戦後は桜美林学園の創設発展に貢献した小泉郁子氏、日本の生物科学の黎明期から革新的な研究を展開するとともに本学及びその前身校において数多くの女子学生を育て日本初の女性理学博士となった保井コノ氏、本学卒業後数多くの女子学生を育て茶の成分について長年にわたって優れた研究を行い日本初の女性農学博士として活躍した辻村みちよ氏の功



## 国際シンポジウム

# 「科学における女性のリーダーシップとは—アジアと欧州の経験から」 “Improving Gender Balance of Participation in Science: European and Asian Experiences” を開催しました



カレン・シャイア氏



アリソン・E・ウッドワード氏



チョ・ソンナム氏



安西祐一郎氏

2017年2月20日(月)、  
お茶の水女子大学共通講  
義棟2号館にて、グローバ  
ルリーダーシップ研究所  
(IGL) 主催国際シンポジ

ウム「科学における女性のリーダーシップとは—アジアと欧州の経験から」“Improving Gender Balance of Participation in Science: European and Asian Experiences”を開催しました。このシンポジウムはIGL海外特別招聘教授カレン・シャイア氏(デュースブルク・エッセン大学教授)が企画、運営するもので、国内外から3名のゲストをお招きし、STEM分野(\*1)への女性の参画の現状や女性参画の向上に関する政策や制度、取組等について、各登壇者の発表とディスカッションが行われました。当日は130名以上の参加があり、会場は満席となりました。

はじめに榊原洋一氏(本学理事・副学長)より開会挨拶、カレン・

シャイア氏よりシンポジウムの趣旨と登壇者の紹介がありました。続いて、3名の登壇者より発表がありました。1人目のアリソン・E・ウッドワード氏(ベルギー ブリュッセル自由大学教授)より、科学分野における女性人材登用の推進策とその具体的な事例(例えばクオータ(\*2)など)についてご発表がありました。2人目のチョ・ソンナム氏(韓国 梨花女子大学校社会学教授、梨花リーダーシップ開発院所長)は、梨花女子大学校における女性リーダー育成の歴史と科学分野における女性人材育成の教育プログラムをご紹介いただきました。3人目の安西祐一郎氏(独立行政法人日本学術振興会理事長、前慶應義塾長)より、STEM分野への女性進出に関する日本の現状と課題についてご発表を頂戴しました。最後のディスカッションでは、シャイア氏が司会を務め、登壇者全員による意見交換やフロアとの質疑応答があり、STEM分野への女性の参画をさらに推進するためにはどのようなアプローチ、取組があるのか、について活発な議論が交わされました。

\*1 科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、  
数学(Mathematics)などのいわゆる理工系分野

\*2 割当制(quota):一定数を女性に割り当てること



パネル・ディスカッションの様子

績を称えるため、それぞれ小泉郁子賞(以下小泉賞)、保井コノ賞(以下保井賞)、辻村みちよ賞(以下辻村賞)を創設し、この日に授与式を行いました。

第1回小泉賞は小山弓弦葉氏(東京国立博物館工芸室長)、第1回保井賞は佐々木成江氏(名古屋大学大学院理学研究科生命理学専攻准教授)、柴小菊氏(筑波大学生命環境系下田臨海実験センター助教)の両氏に、第1回辻村みちよ賞は島田淳子氏(本学名誉教授)にそれぞれ贈られました。

詳細はHPをご覧ください。

<http://www.ocha.ac.jp/danjo/op/index.html>









# 研究表彰等受賞者一覧 2016年度(抜粋)

- 2017年2月6日 四国新聞  
大学生の年金学会白熱調査や動画制作で身近に  
東井愛佳さん  
(生活科学部人間生活科学生活社会科学講座3年)
- 2017年2月7日 日刊工業新聞  
濃として生きる 理系女性の挑戦柔軟な働き方「自然に」実践  
櫻木紀さん(大学院卒業生 日本IBM研究員)
- 2017年2月7日 大学新聞  
女性リーダーの育成へ プリチストンと協定を締結 お茶の水女子大  
室伏さきみ子学長
- 2017年2月7日 山口新聞  
白熱!大学生の年金学会 調査や動画の制作で身近に  
東井愛佳さん  
(生活科学部人間生活科学生活社会科学講座3年)
- 2017年2月8日 日本海新聞  
白熱!大学生の年金学会 調査や動画で身近に 同世代の知識不足指摘  
東井愛佳さん  
(生活科学部人間生活科学生活社会科学講座3年)
- 2017年2月8日 東奥日報  
年金制度本当を知ってる? 大学生が学会 議論本格  
東井愛佳さん  
(生活科学部人間生活科学生活社会科学講座3年)
- 2017年2月9日 中部経済新聞  
白熱!大学生の年金学会  
東井愛佳さん  
(生活科学部人間生活科学生活社会科学講座3年)
- 2017年2月11日 大分合同新聞  
年金若者も関心を 大学生が学会発表や動画制作  
東井愛佳さん  
(生活科学部人間生活科学生活社会科学講座3年)
- 2017年2月12日 読売新聞  
レシビ甲子園 松尾さんV 樋口さん3位  
家族の笑顔選んで調理  
松尾彩加さん(附属高等学校1年)
- 2017年2月12日 読売新聞  
(日米首脳会談)尖閣に安保 沖縄「安心して漁に」合理的な人物  
藤原正彦名誉教授
- 2017年2月15日 読売新聞  
「心に残る医療」体験記 小田倉さん石川さん  
優秀賞  
石川瑞季さん(附属中学校1年)
- 2017年2月15日 毎日新聞  
【学修指導要領改定案】学びの質 現場で改善  
耳塚寛明氏
- 2017年2月16日 朝日新聞  
中教審委員長に命、新任は15人  
室伏さきみ子学長
- 2017年2月16日 朝日新聞  
幼児にスマホ、心配しつつ 外出先「見せて静かに」  
坂元章教授
- 2017年2月17日 朝日新聞  
旧石器時代人、変わる記述 骨の年代修正・疑義あいつく  
松浦浩治教授

## ラジオ

- 2016年7月28日 J-wave [tokyo dictionary]  
文教育学部人文科学科地理学コース

## (1) 教職員

- の叙勲 瑞宝中級章  
石川宏名誉教授
- 第15回(2016年)日本人口学会賞  
優秀論文賞  
基幹研究院人間科学系 永瀬伸子教授
- 日本基礎心理学会賞  
2015年度日本基礎心理学会優秀論文賞  
基幹研究院 上田祥代 リサーチフェロー
- 独立行政法人日本学術振興会  
平成27年度特別研究員等審査会  
専門委員(書面担当)  
及び国際事業委員会書面審査員として表彰  
基幹研究院人間科学系 菅原ますみ教授
- 2016年度日本数学会賞理部賞特別賞  
お茶大アカデミック・プロダクション  
山下真助教
- 科学技術振興機構(JST)  
平成28年度  
戦略的創造研究推進事業(さきがけ)採択  
本学基幹研究院自然科学系 森寛敬准教授
- (公社)土木学会・環境システム委員会  
平成28年度環境システム優秀論文賞  
基幹研究院自然科学系 中久保豊彦助教
- 第1回山本邦山記念賞 芸術分野  
石黒節子名誉教授
- 9th i-CIPEC (International Conference on: Combustion, Incineration/Pyrolysis, Emission and Climate change)  
Award for outstanding poster presentation  
基幹研究院自然科学系 中久保豊彦助教
- 日本子ども学会 優秀発表賞  
第13回子ども学会 優秀発表賞  
基幹研究院人間科学系 菅原ますみ教授
- 平成28年度第15回未踏科学サマー道場  
ポスター発表注目賞  
ソフトウェア教育研究センター  
作道直幸特任助教
- 第19回がんばれ先生! 東京新聞教育賞  
附属高等学校 佐藤健太教諭

## (2) 学生

- 第50回日本水環境学会年会  
学生ポスター発表賞(通称:ライオン賞)  
生活科学部人間・環境科学科4年  
吉村瑠璃香さん
- 日本科学協会  
平成27年度笹川科学研究奨励賞  
基幹研究院研究員 久島桃代さん
- JST研究成果展開事業  
大学発新産業創出プログラム(START)  
技術シーズ選抜育成プロジェクト(IoT分野)採択  
チームリーダー:  
大学院人間文化創成科学研究科  
博士前期課程生活工学共同専攻1年  
留奥美希さん  
(指導教授 太田裕治教授:基幹研究院  
自然科学系)
- 第34回全日本中国語スピーチコンテスト  
東京大会  
朗読の部  
中国大使館賞(最優秀賞)  
文教育学部人文科学科比較歴史学コース2年  
瑞島真弥さん

- Panda杯全日本青年作文コンクール2016  
佳作  
文教育学部言語文化科学科1年  
高藤明香さん
- 科学技術振興機構(JST)  
平成28年度戦略的創造研究推進事業  
ACT-I (Advanced Information & Communication Technology for Innovation)  
プロジェクト「情報と未来領域」研究者  
として採択  
大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程  
化学・生物化学領域1年  
黒木菜保子さん(森寛敬准教授研究室)
- 第12回2016年度  
大学生協議書ラソン・全国コメント大賞  
奨励賞  
大学院人間文化創成科学研究科  
博士前期課程比較社会化学専攻3年  
英語圏・仏語圏言語文化化学コース2年  
横尾ちえさん
- 日本パーソナリティ心理学会第25回大会  
優秀大会発表賞  
大学院人間文化創成科学研究科  
博士後期課程人間発達科学専攻  
心理学領域2年  
森彩乃さん
- 日本語学会第9回国際春季フォーラム  
優秀発表賞(佳作)  
大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程  
比較社会化学専攻3年  
松田麻子さん
- 第48回日本総合組織学会学術大会  
Young Investigator Award  
大学院人間文化創成科学研究科  
博士後期課程ライフサイエンス専攻  
生命科学領域2年  
リーディング大学院副専攻  
橋本恵さん
- International Conference on  
Information Visualisation (IV2016)  
The Best Paper Award  
大学院人間文化創成科学研究科  
博士前期課程理学専攻情報科学コース2年  
宮城優里さん
- 第26回日本メーラド学会  
若手奨励賞  
大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程  
ライフサイエンス専攻食品栄養科学領域1年  
野田響子さん
- NICOGRAPH 2016  
優秀論文賞  
大学院人間文化創成科学研究科  
博士後期課程理学専攻情報科学コース3年  
齊藤優理さん
- 国際会議 IEEE BDVA (Big Data  
Visual Analytics) 2016  
Best Poster Award  
大学院人間文化創成科学研究科  
博士前期課程理学専攻情報科学コース1年  
十枝葉穂子さん
- 第39回日本分子生物学会年会  
優秀ポスター賞  
大学院人間文化創成科学研究科博士前期課程  
ライフサイエンス専攻生命科学コース2年  
中條佑美さん

- 第30回分子シミュレーション討論会  
学生優秀発表賞  
大学院人間文化創成科学研究科博士後  
期課程化学・生物化学領域1年  
黒木菜保子さん
- 第14回日本機能性食品医食学会総会  
優秀演習賞  
大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程  
ライフサイエンス専攻食品栄養科学領域1年  
田中未央里さん
- 第7回日韓3女子大学交流合同シンポ  
ジウム  
発表賞(Best Presentation Award  
in the 7th EJO Joint Symposium  
2016)  
理学部情報科学科4年 稲垣志帆さん  
理学部情報科学科4年 中川真理子さん  
大学院人間文化創成科学研究科博士前期課程  
理学専攻化学・生物化学コース1年  
川崎波留さん
- メンタルヘルス関連3学会合同大会  
日本学校メンタルヘルス学会  
(The Japan Association for  
School Mental Health)  
Young Scholar of the Year  
大学院人間文化創成科学研究科博士  
後期課程人間発達科学専攻発達臨床  
心理学領域1年  
殿夢善さん(青木紀久代研究室)
- 日本ビタミン学会第68回大会  
学生優秀発表賞  
大学院人間文化創成科学研究科博士前期課程  
ライフサイエンス専攻食品栄養科学コース2年  
池上寛子さん
- 平成28年度第14回未踏科学サマー道場  
ポスター発表優秀賞  
大学院人間文化創成科学研究科  
博士前期課程理学専攻物理科学コース2年  
磯部遊さん
- 第29回 全日本高校・大学ダンスフェ  
スティバル(神戸)  
創作コンクール部門審査員賞  
文教育学部芸術・表現行動学  
舞踊教育学コース在学生1~3年生  
(23名)
- 国際学会  
Symposium on Foldamer2016  
優秀ポスター発表賞  
大学院人間文化創成科学研究科  
博士後期課程  
理学専攻化学・生物化学領域2年生  
漆原紅さん
- 第35回心に残る医療体験記コンクール  
優秀賞  
附属中学校1年 石川瑞季さん
- 第9回 田辺聖子文学館ジュニア文学賞  
◇小説部門中学生の部  
佳作  
附属中学校3年 滝川麻友さん  
◇エッセイ部門中学生の部  
最優秀賞  
附属中学校1年 神津日語乃さん

- ◇読書体験記部門中学生の部  
佳作  
附属中学校3年 黒坂 凜さん
- ◇文字・活字文化推進機構賞  
中学校の部  
附属中学校
- 吹奏楽コンクール部門別大会  
◇中学校・B組 銀賞  
附属中学校
- ◇高校・B2組 銀賞  
附属高等学校
- 第16回毎日パソコン入カコンクール  
総務大臣賞  
漢字中・高校生  
附属高等学校2年 木村菜々子さん
- 第4回 食withレシビ甲子園  
◇文部科学大臣賞(最優秀賞)  
附属高等学校1年 松尾彩加さん
- ◇優秀賞  
附属高等学校1年 塩田愛子さん
- ◇奨励賞  
附属高等学校1年 遠藤久美香さん

## (4) 本学出身者

- 第9回東北地理学会  
研究奨励賞(長谷川賞)  
文教育学部人文科学科地理学コース卒業  
松本江利奈さん
- 尾中郁夫・家族法術奨励賞  
家政学研究科修士課程修了  
下夷美幸さん  
(東北大学大学院教授)
- 可視化情報学会  
可視化情報シンポジウム  
可視化情報学会賞(奨励賞)  
大学院人間文化創成科学研究科  
博士後期課程理学専攻  
情報科学領域修了  
八木佐也香さん
- NICOGRAPH 2017  
優秀論文賞  
大学院人間文化創成科学研究科  
博士前期課程  
理学専攻情報科学コース修了  
松枝知香さん
- マイナビ  
第4回全国学園祭マスコット総選挙  
第1位  
音楽祭マスコットキャラクター  
きいちゃん
- レッツエンジョイ東京  
学園祭グランプリ2016  
◇学園祭グランプリMVP  
第67回 回音祭
- ◇部門賞 グローバル企画賞  
第67回 回音祭
- ◇PR動画賞 1位  
第67回 回音祭

## (5) その他

## (3) 附属学校

- 第35回心に残る医療体験記コンクール  
優秀賞  
附属中学校1年 石川瑞季さん
- 第9回 田辺聖子文学館ジュニア文学賞  
◇小説部門中学生の部  
佳作  
附属中学校3年 滝川麻友さん  
◇エッセイ部門中学生の部  
最優秀賞  
附属中学校1年 神津日語乃さん

# 主要行事予定 2017年度

- 4月 4日 入学式
- 4月 3日 新入生オリエンテーション(~7日)
- 4月 8日 1学期・前期授業開始
- 4月 15日 大学院オープンキャンパス
- 5月 17日 名誉教授懇談会
- 5月 31日 開学記念日
- 6月 10日 2学期授業開始
- 6月 28日 理学部・生活科学部(人間・環境科学科)編入学試験  
(~29日)
- 7月 6日 理学部・生活科学部(人間・環境科学科)編入学試験  
合格発表
- 7月 15日 学部オープンキャンパス(~17日)
- 8月 8日 夏期休業開始
- 8月 11日 夏季一斉休業(~16日)
- 8月 24日 博士前期課程8月入試(~25日)
- 8月 26日 生活工学共同専攻入試
- 9月 1日 博士前期課程8月入試合格発表  
生活工学共同専攻入試合格発表
- 9月 3日 博士前期課程9月入試(~4日)
- 9月 4日 博士後期課程9月入試
- 9月 8日 博士前期課程9月入試・博士後期課程9月入試  
合格発表
- 9月 23日 新フンボルト1次入試・プレゼミナール(~24日)
- 9月 29日 9月卒業式

- 9月 30日 夏期休業終了
- 10月 1日 文教育学部・生活科学部編入学1次試験
- 10月 2日 10月入学式  
3学期・後期授業開始
- 10月 3日 新フンボルト1次入試合格発表
- 10月 9日 通常授業開講
- 10月 12日 文教育学部・生活科学部編入学1次試験合格発表
- 10月 14日 新フンボルト2次入試(~15日)
- 10月 20日 新フンボルト2次入試合格発表
- 10月 25日 文教育学部・生活科学部編入学2次試験
- 11月 3日 通常授業開講
- 11月 9日 文教育学部・生活科学部編入学2次試験合格発表
- 11月 10日 德音祭準備(休講)
- 11月 11日 德音祭(~12日)
- 11月 15日 推薦入試等1次試験合格発表
- 11月 21日 奨学金授与式
- 11月 22日 永年勤続表彰式
- 11月 23日 通常授業開講
- 11月 25日 推薦入試等2次試験(~26日)
- 11月 29日 創立記念日  
4学期授業開始
- 12月 2日 附属中学校創立70周年記念式典
- 12月 7日 推薦入試等2次試験合格発表
- 12月 9日 生活工学共同専攻入試

- 12月 14日 生活工学共同専攻入試合格発表
- 12月 23日 通常授業開講
- 12月 28日 冬期休業開始

## 2018年

- 1月 3日 冬期休業終了
- 1月 13日 大学入試センター試験(~14日)
- 1月 20日 大学入試センター試験(追試)(~21日)
- 2月 3日 春期休業開始
- 2月 5日 博士前期課程2月入試(~6日)
- 2月 13日 博士前期課程2月入試合格発表
- 2月 25日 学部入試(前期)(~26日)
- 3月 5日 博士後期課程3月入試(~6日)
- 3月 8日 学部入試(前期)合格発表
- 3月 9日 博士後期課程3月入試合格発表
- 3月 12日 学部入試(後期)
- 3月 14日 全学送別会
- 3月 20日 学部入試(後期)合格発表
- 3月 23日 卒業式・学位授与式
- 3月 30日 永年勤続表彰式
- 3月 31日 春期休業終了

# 研究表彰等受賞者一覧 / イベントカレンダー





お茶の水女子大学学报 第 252 号

▽発行日 : 2017 年 4 月 4 日

▽発行 : 国立大学法人お茶の水女子大学

東京都文京区大塚 2-1-1 (〒112-8610)

ご意見・ご感想はこちらまで

企画戦略課広報企画担当

電話 03-5978-5105

FAX 03-5978-5545

E-mail: info@cc.ocha.ac.jp

URL : http://www.ocha.ac.jp/

本誌、お茶の水女子大学学报「GAZETTE」は、  
本学ホームページにも掲載していますので、どうぞご覧ください。